

CIFLE Report No. 29

慣用表現力を鍛える：提案する

田中茂範

ココネ言語教育研究所

何かを提案するという事は、年齢を問わず、日々繰り返し行われている行為です。幼児の「ねえ、かくれんぼうしよ」も、仕事場での「そのアイデアは再考されたらどうでしょうか」もともに提案です。一方は、「一緒に何かをしようという提案」で、他方は、「相手に何かアクションを促す提案」です。英語でいえば、それぞれ **Let's play hide-and-seek.** と **It might be better to reconsider that idea.** といった感じになるでしょう。例えば「付き合いたい女性があります。彼女をデートに誘いたいんですが、まだ彼女のことをよく知りません。どうしたらいいかについて何かいい方法はありますか」と相談する場合はどうでしょうか。「自分がどうしたらいいかについての提案を求める」という状況です。英語だと、例えば、次のようにいうでしょう。

A: I have a girl I want to date with. I want to ask her out, but I don't know her well.

Do you have any ideas about what I should do?

このように、提案には、(1)誰かに提案を求めるという場合と、(2)誰かに提案をするという場合があります。そして、相手に提案をする場合には、その提案内容が自分（話し手）を含むかどうかで違いがでます。この3つのタイプを「提案ネットワーク」としてまとめると次ページの図のようになります。

提案を求める

私たちは、恋愛、受験、仕事、ランチ、旅行などいろいろなことについて提案を求めます。提案の仕方には、いくつもの定型表現（慣用表現）があり、いろいろな状況や場面で使うことができます。以下は、「相手に提案を求める」際の慣用表現です。表現が使われる状況を日本語で表しています。また、その使い方の具体例を付けています。

状況：「私の立場だったら、あなたならどうする？」

If you were in my situation, what would you?

状況：「～について何かアドバイスをいただけませんか」

Can you give me some advice about ...?

状況：「～するのに何か提案はありますか」

How do you suggest that?

状況：「私～しようと思うんだけど、それってどう思いますか」

What would you say if I ...?

A. 提案を求める 「どうしたらいい？」

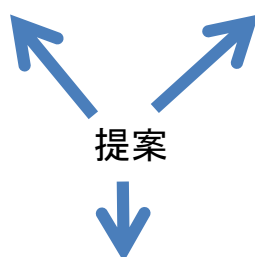
C. 自分も含めて「しようよ」

Can you give me some advice about...?

Why don't we ...?

How do you suggest that ...?

Perhaps we should ...



B. 相手に提案する「してみたらどう？」

Why don't you ...?

It might be better to

例えば「仕事の面接があるんですけど、どうしたらいいでしょうか？」という状況だと次のように表現すればいいですね。

How do you suggest that I make a job interview?

I have a job interview next week. Can you give me some advice?

相手に提案する

今度は、何かを提案するという場面を想像してみてください。「どうしよう？」と聞かれて「こうしよう」と提案する場合は会話ではひんぱんに見られます。また、相手にいきなり「～なのはどう？」と提案する状況もよくあります。自分を巻き込んだ提案と、相手に「こうしたらいい」という提案は分けて考える必要があります。

上の「デートに誘いたいけどどうしたらいい」という求めに対して、例えば次のようにアドバイスしたとします。

提案者：Why don't you test the waters and ask for her phone number? If she likes your approach, she'll give you her number. Don't be afraid of asking for what you want. (脈があるかどうか知るのに電話番号を聞くというのはどうでしょうか。もし

彼女があなたのアプローチを気に入れば、番号を教えてくれるでしょう。彼女の番号をもらったなら、すぐかけなさい。望んでいることを求めることに対して臆病になってはだめですよ)

ここでは、電話番号を聞くことで脈があるかどうかを調べたら、という提案ですが、**Why don't you?**という慣用表現を使っています。これは提案する際の定番です。相手に何かを提案する慣用表現には、以下が含まれます。

状況：「～したらどうですか」

Why don't you?

状況：「私があなただったら、～するでしょうね」

If I were you, I'd

状況：「ひょっとしたら～するのもいいじゃないですか」

It might be better to

状況：「～するというのはいいと思わないですか」

Don't you think you should?

状況：「～することを考えてみるのもいいかもしれませんね」

You might consider

状況：～はいかがですか

How about?

これらはいずれも一緒に何かをしようという際の表現ですが、相手に「こうしたら？」と提案する場合は、自分が含まれないので、表現としても相手中心のものとなります。

ある女性に思い寄せている友人に、**Why don't you give her a call and invite her for a lunch?** だと「彼女に電話して、ランチに誘ったって見たらどう？」という感じです。話し手が相手の気持ちを付度して、何かをしないかと提案する場合の慣用表現は **Would you like to?** (～したいんじゃない?) となるでしょう。

提案の流れ

いきなり何かを提案することもあるかもしれませんが、通常は、相手の注意を喚起し、そして相手の反応や状況を付度しながら、ある提案を行い、その実行を促すという流れが想定できます。

- ・ 注意を喚起する：I'll tell you what., I've got something to tell you., Hey, listen.
- ・ 相手の反応を付度する：I don't know how you feel but..., You may feel it absurd, but ...,

I'm sure you like this idea.

- ・ 提案に入る：提案内容
- ・ 実行を促す：Go ahead., Give it a try., Try it.

例えば、Hey, listen. (ねえ、ちょっと) と注意を喚起し、Well, you may feel it absurd, (ちょっと馬鹿げていると思うかもしれないけど) と相手の反応を忖度し、そして、but why don't you ask Naomi to lend you some money? (ナオミにお金を貸してくれと頼んでみたらどうかな) という提案を行います。そして、Just give it a try. (やっpegらんよ) とそれを実行するように促します。

上のランチにある女性を誘うという提案場面で Why don't you give her a call and invite her for a lunch? に続いて Go ahead. Ask her. だとか Give it a try. などの一言が相手を行動に向かわせる力になるかもしれませんね。

一緒に何かをしようと提案

冒頭の幼児が友だちを誘う際の「ねえ、かくれんぼうしよう」は、一緒に何かをしようという提案です。「こうしよう」という提案を切り出す際の典型的な慣用表現には以下が含まれます。

状況：「～しましょう」

Let's

状況：「～しませんか」

Why don't we?

状況：「一緒に～するというのはどうかな」

Perhaps we should ...

例えば「江の島にドライブというのはどうですか」と提案する状況を想定してみてください。上のどのチャンクを使っても OK ですが、Perhaps we should ... だと Perhaps we should go for a drive to Enoshima. となりますね。Perhaps があるため押しつけがましく感じられない表現ですね。

提案を受け入れる場合

「一緒に～しない？」という提案を受けて、それに応じる際の慣用表現は以下です。

Sure. (ぜひ) / Why not? (わるくないですね) / That's a good idea. (それはいい考えですね) / Of course. (もちろん)

「～したらどう？」と提案を受けた場合だと、応答の仕方も当然主語は I になり、次のような表現を慣用的に使います。

I'll try. (やってみます) / I'll do that. (そうします) / All right. (いいですね) / I have no objection. (異論なしです) / I'll buy that idea. (それっていいね)

感謝を表したり、賛同の気持ちを表したりほかにもいろいろ考えられるでしょう。「いい提案をしてくれてありがとう」だと Thank you for your offer. や I appreciate your suggestion. ですね。「その提案に賛成」だと、I'm all for it. (大賛成) だとか I'll buy the idea. (それっていいね) あるいは I'll take it. (そうします) などがピッタリですね。また、楽しい提案だと How exciting! (わくわくしちゃうね) とか I'm totally excited. (とても楽しみ) のように感想を足すのもいいですね。

提案を断る場合の応答

提案を断るときはどう表現するでしょう。日本語でも「ありがたいんですけど、ちょっと」と語尾を濁す言い方がありますが、英語では No, sorry. だとか、No, but thank you very much. と明確に、No といい、申し訳ない気持ちや感謝の気持ちを表現することで表現を柔らかくします。もちろん、「できればいいんですが」に相当する I wish I could. で断る場合もあります。

曖昧に応答する

英語ではいつも白黒をつけなければならないか、といえば、そうでもありません。曖昧に返答をする際の慣用表現もあります。

Yes and no. (イエスともノートも言いがたいですね) / More or less. (まあ、なんとも) / It depends. (場合によりけりです) / It's up to you. (あなた次第です) / Let me see... (そうですね) / Let me think about it. (考えさせてください)

それぞれ意味合いは異なりますが、Would you like to go for a walk? (散歩でもしたらどうですか) と提案され、「どうしようかなあ」という場合は Yes and no. あるいは Well, more or less. さらには It (all) depends. などと応えるでしょう。「あなた次第です」という場合には、It's up to you. が一番よく使われます。

「うーん」という曖昧な感じは Well, let me see ... I don't know. といったところです。即決できない提案の場合には「考えさせて」と日本語でいいですが、英語でも Let me think about it. そのままです。